



淡路島

国営明石海峡公園 News Release

Akashi Kaikyo National Government Park – Awaji Island

2021年3月24日

関西最大級！100品種20万本の

チューリップが見頃を迎えました！



見頃を迎えたチューリップ（2021年3月24日ポプラの丘で撮影）

淡路島国営明石海峡公園では、100品種 20万本のチューリップが、見頃を迎えました。昨年よりも5日程早く、見頃のピークは4月初め頃までで、その後は遅咲きの品種がご覧いただけます。

また、色とりどりのチューリップのほか、約4万株のムスカリもご覧いただけます。

4月18日までの「チューリップアイランドパーティー」期間中は、大地の虹北花壇や、入場ゲート前でミニチュア風車の展示もあり本場オランダの雰囲気を楽しめるほか、チューリップの花びらを使った草木染め体験（4/10）も行います。

淡路島国営明石海峡公園のチューリップを是非ご紹介いただきますようお願いいたします。



お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター 佐藤・横山

TEL: 0799-72-2000 FAX: 0799-72-2100

ホームページ: <https://www.awaji-kaikyopark.jp/> 最新情報は“明石海峡公園”で検索。

この資料や画像はメールでお送りできますのでお問い合わせください。

●チューリップってどんな花？

チューリップはユリ科の球根植物で、原産地は中央アジアから地中海沿岸。トルコからヨーロッパに伝えられる時、花の名前を尋ねられた通訳がターバンのことと勘違いして「ターバン（トルコ語でドゥルバン）」と答え、ドゥルバン→チュリッパム→チューリップとなったといわれています。今では春の代表的な花として親しまれています。



●国営明石海峡公園のチューリップ

★球根植物の株数・品種数は関西最大級！！

チューリップ（100品種 20万本）、ムスカリ（約4万株）、アネモネ（約3万株）と株数・品種数は関西最大級！多彩な春の花風景をお楽しみいただけます。



園内の見どころをご紹介します。



ポプラの丘（3月24日撮影）
青いムスカリと、赤白黄ピンクと単色のチューリップの他、混色のチューリップもご覧いただけます。



ムスカリ(写真左)
ブドウの房のような花が見ごろになると、一面ブルーの絨毯を広げたように美しい。

フリンジ咲きチューリップ
(写真右)
花びらの縁がフリルのようにギザギザとしています。特徴的な姿は目を惹きます。



花火鳥 大地の虹の花火鳥は、今年リニューアルしました。



大地の虹 北花壇(写真)は、チューリップが虹のように咲き、ミニチュア風車の展示も。南花壇は模様の花壇です。(3月24日撮影)

チューリップが咲き終わる頃には淡いブルーの花がかわいい「ネモフィラ」が見ごろになります。こちらもお見逃しなく！！